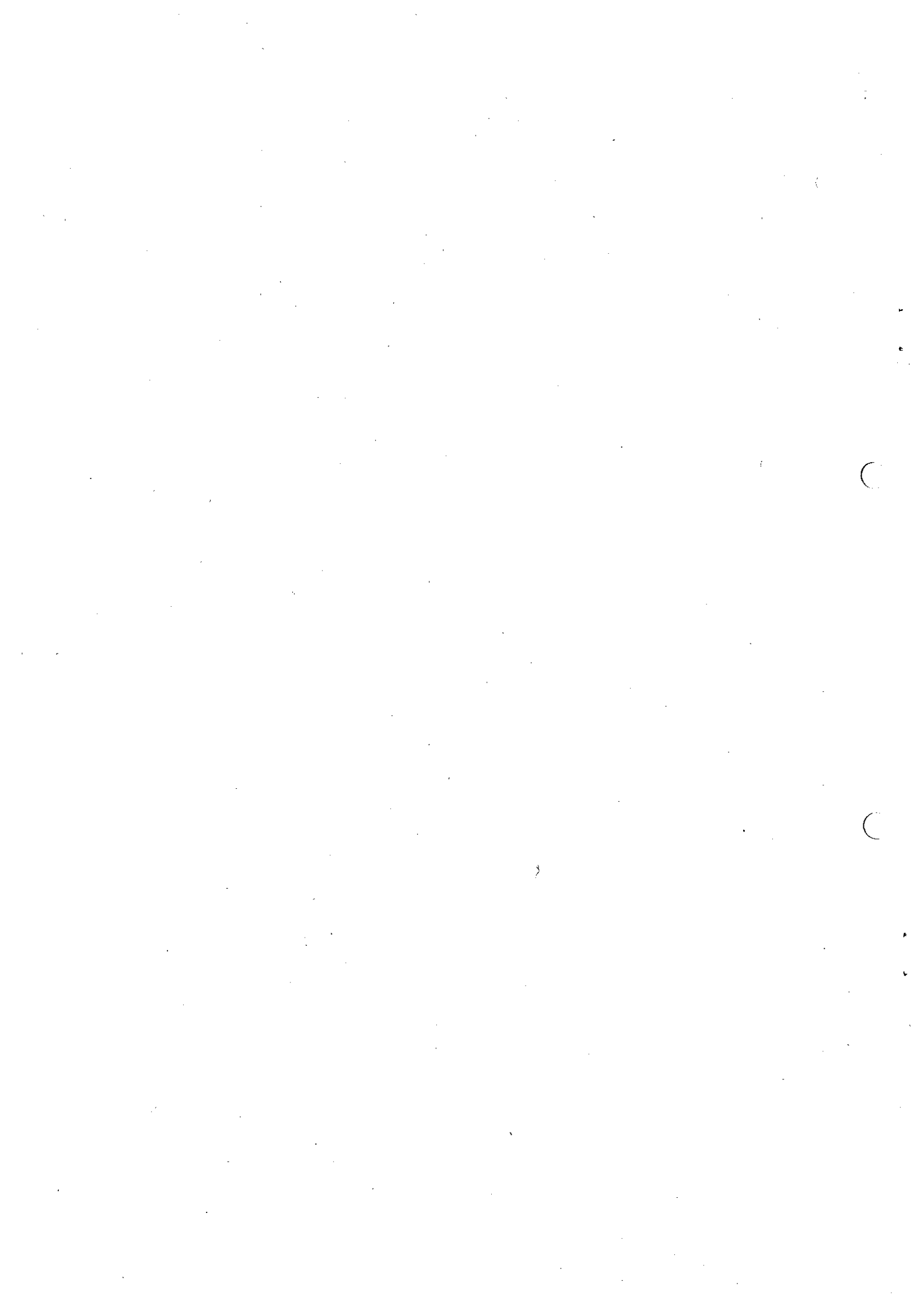


平成30年度

諫早市下水道事業会計
決算審査意見書

諫早市監査委員



31 諫監第35号
令和元年9月4日

諫早市長 宮本明雄様

諫早市監査委員	谷口啓
諫早市監査委員	森口恭子
諫早市監査委員	北坂秋男

平成30年度諫早市下水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成30年度諫早市下水道事業会計決算の審査を行ったので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第2	審査の結果	1
1	事業の概要について	1
2	予算の執行状況について	2
	(1) 収益的収入及び支出	
	(2) 資本的収入及び支出	
	(3) その他の予算事項	
3	経営成績について	7
	(1) 営業収益及び営業費用	
	(2) 営業外収益及び営業外費用	
	(3) 特別利益及び特別損失	
	(4) 原価計算	
	(5) 剰余金計算	
	(6) 各下水道事業別の経営成績	
4	財政状態について	13
	(1) 資産の部	
	(2) 負債の部	
	(3) 資本の部	
5	資金収支の状況について	17
6	セグメント情報	18
7	むすび	19

おことわり事項

- 1 本書中の各比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- 2 下記表現の説明は、次のとおりである。
「0」・「0.0」 該当数値はあるが単位未満のもの
「-」 該当数値がないもの
「皆増」 前年度に数値がなく全額増加したもの
「皆減」 当年度に数値がなく全額減少したもの
- 3 本書中に用いているポイントとは、パーセンテージ間の単純差引き数値である。

平成30年度諫早市下水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の概要

- 1 審査の対象
平成30年度諫早市下水道事業会計決算
- 2 審査の期間
令和元年7月8日から令和元年8月28日まで
- 3 審査の手続

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書について、地方公営企業法等関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、総勘定元帳その他の会計帳票及び関係証書類との照合等の審査手続を実施した。

審査に当たっては、当事業が経済性を発揮し、公共の福祉を増進するために運営されたかを検討するため、事業の経営分析を行った。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

審査の結果の詳細は、次のとおりである。

1 事業の概要について

(1) 下水道処理状況

当年度末における接続人口は84,825人で、前年度に比べ1,583人(1.9%)増加しており、接続戸数は39,661戸で、前年度に比べ1,222戸(3.2%)増加している。普及率は74.8%で、前年度に比べ1.6ポイント上昇している。年間総処理水量は12,452,628 m^3 で、前年度に比べ29,367 m^3 (Δ 0.2%)減少し、年間有収水量は11,831,200 m^3 で、前年度に比べ70,625 m^3 (Δ 0.6%)減少している。有収率は95.0%で、前年度に比べ0.4ポイント低下している。

(2) 建設改良事業

当年度における建設改良事業の状況は、拡張工事(委託工事含む)では、公共下水道事業で大村湾処理区20件、291,405,040円、諫早湾処理区14件、299,036,326円、特定環境保全公共下水道事業で飯盛処理区9件、143,535,080円、高来処理区11件、202,381,360円、農業集落排水事業で大草地区5件、150,269,040円、漁業集落排水事業で有喜・松里地区8件、40,637,640円である。改良工事では、公共下水道事業で8件、224,435,560円、農業集落排水事業で14件、92,019,960円である。

主な拡張工事は、大草地区農業集落排水管渠工事(30-5工区)42,812,280円、平山地区污水管渠工事(30-1工区)41,791,680円、栗面地区污水管渠工事(30-1工区)41,683,680円である。主な改良工事は、九州新幹線西九州ルート整備に伴う下水管渠移設工事(栄田29-6工区)54,467,960円である。主な保存工事は、多重マンホールポンプ場水中ポンプ分解整備工事8,208,000円である。

なお、地元との調整に不測の日数を要した等に伴い、次年度へ繰越された事業は22件、繰越金額は297,568,448円である。

2 予算の執行状況について

当年度の予算の執行状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位:円)

区 分	平成30年度					29年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (B) - (A)	収入率 (%) (B) / (A)	決算額 (C)	増減額 (D)	比率 (%) (D) / (C)
営業収益	2,357,875,000	2,325,254,560	45.5	△ 32,620,440	98.6	2,325,134,050	120,510	0.0
公共下水道事業収益	1,894,956,000	1,866,268,710	36.4	△ 28,687,290	98.5	1,878,513,020	△ 12,244,310	△ 0.7
特定環境保全公共下水道事業収益	156,376,000	161,154,210	3.2	4,778,210	103.1	157,208,740	3,945,470	2.5
農業集落排水事業収益	217,761,000	218,862,690	4.3	1,101,690	100.5	220,317,190	△ 1,454,500	△ 0.7
漁業集落排水事業収益	24,037,000	18,239,790	0.4	△ 5,797,210	75.9	14,060,940	4,178,850	29.7
公共下水道事業他会計補助金	48,996,000	45,896,000	0.9	△ 3,100,000	93.7	40,881,000	5,015,000	12.3
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	5,742,000	5,683,000	0.1	△ 59,000	99.0	5,415,000	268,000	4.9
農業集落排水事業他会計補助金	9,067,000	8,292,000	0.2	△ 775,000	91.5	8,146,000	146,000	1.8
漁業集落排水事業他会計補助金	927,000	662,000	0.0	△ 265,000	71.4	447,000	215,000	48.1
公共下水道事業その他営業収益	7,000	156,360	0.0	149,360	2233.7	107,960	48,400	44.8
特定環境保全公共下水道その他営業収益	2,000	1,660	0.0	△ 340	83.0	1,200	460	38.3
農業集落排水事業その他営業収益	2,000	35,520	0.0	33,520	1776.0	35,600	△ 80	△ 0.2
漁業集落排水事業その他営業収益	2,000	2,620	0.0	620	131.0	400	2,220	555.0
営業外収益	2,787,206,000	2,720,371,635	53.1	△ 66,834,365	97.6	2,653,433,226	66,938,409	2.5
公共下水道事業受取利息及び配当金	609,000	461,851	0.0	△ 147,149	75.8	550,828	△ 88,977	△ 16.2
公共下水道事業他会計補助金	733,860,000	736,166,000	14.4	2,306,000	100.3	756,627,000	△ 20,461,000	△ 2.7
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	231,997,000	232,032,000	4.5	35,000	100.0	233,078,000	△ 1,046,000	△ 0.4
農業集落排水事業他会計補助金	395,559,000	394,830,000	7.7	△ 729,000	99.8	399,379,000	△ 4,549,000	△ 1.1
漁業集落排水事業他会計補助金	12,212,000	12,191,000	0.2	△ 21,000	99.8	3,956,000	8,235,000	208.2
公共下水道事業長期前受金戻入	777,361,000	751,694,352	14.7	△ 25,666,648	96.7	650,175,410	101,518,942	15.6
特定環境保全公共下水道事業長期前受金戻入	252,827,000	252,402,551	4.9	△ 424,449	99.8	258,479,148	△ 6,076,597	△ 2.4
農業集落排水事業長期前受金戻入	354,940,000	312,537,918	6.1	△ 42,402,082	88.1	324,257,809	△ 11,719,891	△ 3.6
漁業集落排水事業長期前受金戻入	20,185,000	20,152,557	0.4	△ 32,443	99.8	19,014,947	1,137,610	6.0
雑収益	7,656,000	7,903,406	0.2	247,406	103.2	7,915,084	△ 11,678	△ 0.1
特別利益	69,008,000	69,305,873	1.4	297,873	100.4	67,570,557	1,735,316	2.6
固定資産売却益	4,000	—	—	△ 4,000	—	—	—	—
過年度損益修正益	4,000	38,080	0.0	34,080	952.0	7,631,940	△ 7,593,860	△ 99.5
その他特別利益	69,000,000	69,267,793	1.4	267,793	100.4	59,938,617	9,329,176	15.6
合 計	5,214,089,000	5,114,932,068	100.0	△ 99,156,932	98.1	5,046,137,833	68,794,235	1.4

(税込み)

(収益的支出)

(単位:円)

区 分	平成30年度					29年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成比 (%)	不用額 (A) - (B)	執行率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B) - (C)	比率 (%) (D)/(C)
営業費用	4,334,110,000	3,994,003,806	86.1	340,106,194	92.2	3,734,324,273	259,679,533	7.0
公共下水道事業管渠費	54,244,424	40,716,979	0.9	13,527,445	75.1	25,129,403	15,587,576	62.0
特定環境保全公共下水道事業管渠費	46,701,249	35,883,164	0.8	10,818,085	76.8	31,510,294	4,372,870	13.9
農業集落排水事業管渠費	77,847,275	55,636,244	1.2	22,211,031	71.5	57,262,048	△ 1,625,804	△ 2.8
漁業集落排水事業管渠費	1,442,000	772,454	0.0	669,546	53.6	800,384	△ 27,930	△ 3.5
公共下水道事業ポンプ場費	30,372,691	24,370,584	0.5	6,002,107	80.2	23,557,306	813,278	3.5
公共下水道事業処理場費	873,839,257	777,161,479	16.7	96,677,778	88.9	738,812,572	38,348,907	5.2
特定環境保全公共下水道事業処理場費	126,736,679	110,665,685	2.4	16,070,994	87.3	96,362,875	14,302,810	14.8
農業集落排水事業処理場費	214,883,350	161,842,083	3.5	53,041,267	75.3	139,337,151	22,504,932	16.2
漁業集落排水事業処理場費	11,973,000	9,600,180	0.2	2,372,820	80.2	9,148,176	452,004	4.9
公共下水道事業総係費	122,199,189	106,682,728	2.3	15,516,461	87.3	111,403,994	△ 4,721,266	△ 4.2
特定環境保全公共下水道事業総係費	20,605,110	17,356,709	0.4	3,248,401	84.2	15,862,830	1,493,879	9.4
農業集落排水事業総係費	31,570,776	24,869,101	0.5	6,701,675	78.8	24,888,734	△ 19,633	△ 0.1
漁業集落排水事業総係費	2,411,000	1,956,042	0.0	454,958	81.1	1,584,662	371,380	23.4
公共下水道事業減価償却費	1,298,719,000	1,317,900,221	28.4	△ 19,181,221	101.5	1,276,068,684	41,831,537	3.3
特定環境保全公共下水道事業減価償却費	460,184,000	457,604,003	9.9	2,579,997	99.4	463,943,263	△ 6,339,260	△ 1.4
農業集落排水事業減価償却費	561,400,000	557,821,678	12.0	3,578,322	99.4	583,450,153	△ 25,628,475	△ 4.4
漁業集落排水事業減価償却費	37,498,000	36,843,262	0.8	654,738	98.3	34,897,120	1,946,142	5.6
公共下水道事業資産減耗費	278,221,000	230,583,791	5.0	47,637,209	82.9	76,907,074	153,676,717	199.8
特定環境保全公共下水道事業資産減耗費	42,000	35,516	0.0	6,484	84.6	23,414	12,102	51.7
農業集落排水事業資産減耗費	83,214,000	25,701,903	0.6	57,512,097	30.9	23,374,136	2,327,767	10.0
漁業集落排水事業資産減耗費	2,000	—	—	2,000	—	—	—	—
その他営業費用	4,000	—	—	4,000	—	—	—	—
営業外費用	697,581,000	646,767,324	13.9	50,813,676	92.7	692,183,587	△ 45,416,263	△ 6.6
公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	396,296,500	362,694,101	7.8	33,602,399	91.5	391,137,727	△ 28,443,626	△ 7.3
特定環境保全公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	119,574,000	108,333,117	2.4	11,240,883	90.6	111,487,650	△ 3,154,533	△ 2.8
農業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	165,087,000	162,577,597	3.5	2,509,403	98.5	174,145,380	△ 11,567,783	△ 6.6
漁業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	8,393,000	5,837,289	0.1	2,555,711	69.5	5,474,950	362,339	6.6
消費税及び地方消費税	6,258,500	6,258,500	0.1	0	100.0	8,325,500	△ 2,067,000	△ 24.8
雑支出	1,972,000	1,066,720	0.0	905,280	54.1	1,612,380	△ 545,660	△ 33.8
特別損失	604,000	110,820	0.0	493,180	18.3	420,640	△ 309,820	△ 73.7
固定資産売却損	4,000	—	—	4,000	—	—	—	—
過年度損益修正損	600,000	110,820	0.0	489,180	18.5	420,640	△ 309,820	△ 73.7
予備費	10,000,000	—	—	10,000,000	—	—	—	—
合 計	5,042,295,000	4,640,881,950	100.0	401,413,050	92.0	4,426,928,500	213,953,450	4.8

(税込み)

収入合計は5,114,932,068円で、予算額5,214,089,000円に対し99,156,932円少なく、収入率は98.1%である。

主な理由は、農業集落排水事業長期前受金戻入が予算額を下回ったことによるものである。

支出合計は4,640,881,950円で、予算額5,042,295,000円に対して401,413,050円の不用額を生じており、執行率は92.0%である。

主な不用額は、公共下水道事業処理場費96,677,778円、農業集落排水事業資産減耗費57,512,097円である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

(単位:円)

区 分	平成30年度						増減額 (B)-(A)	収入率 (%) (B)/(A)	29年度 決算額 (C)	対前年度	
	予 算 額			決 算 額		増減額 (D) (B)-(C)				比率 (%) (D)/(C)	
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)						
企業債	1,808,200,000	128,400,000	1,936,600,000	1,183,700,000	46.3	△ 752,900,000	61.1	1,060,700,000	123,000,000	11.6	
公共下水道事業企業債	1,129,000,000	110,600,000	1,239,600,000	705,100,000	27.6	△ 534,500,000	56.9	749,500,000	△ 44,400,000	△ 5.9	
特定環境保全公共下水道事業企業債	384,100,000	6,600,000	390,700,000	325,800,000	12.7	△ 64,900,000	83.4	240,800,000	85,000,000	35.3	
農業集落排水事業企業債	201,700,000	5,900,000	207,600,000	134,600,000	5.3	△ 73,000,000	64.8	22,100,000	112,500,000	509.1	
漁業集落排水事業企業債	93,400,000	5,300,000	98,700,000	18,200,000	0.7	△ 80,500,000	18.4	48,300,000	△ 30,100,000	△ 62.3	
出資金	189,687,000	—	189,687,000	204,251,000	8.0	14,564,000	107.7	185,307,000	18,944,000	10.2	
公共下水道事業出資金	15,000,000	—	15,000,000	5,480,000	0.2	△ 9,520,000	36.5	—	5,480,000	皆増	
特定環境保全公共下水道事業出資金	64,861,000	—	64,861,000	66,922,000	2.6	2,061,000	103.2	80,358,000	△ 13,436,000	△ 16.7	
農業集落排水事業出資金	109,826,000	—	109,826,000	131,849,000	5.2	22,023,000	120.1	104,949,000	26,900,000	25.6	
補助金	1,129,303,000	59,214,170	1,188,517,170	730,719,246	28.6	△ 457,797,924	61.5	977,176,270	△ 246,457,024	△ 25.2	
公共下水道事業補助金	634,255,000	52,439,310	686,694,310	380,354,110	14.9	△ 306,340,200	55.4	750,493,770	△ 370,139,660	△ 49.3	
特定環境保全公共下水道事業補助金	184,858,000	1,384,860	186,242,860	109,526,136	4.3	△ 76,716,724	58.8	93,394,500	16,131,636	17.3	
農業集落排水事業補助金	234,940,000	—	234,940,000	220,453,000	8.6	△ 14,487,000	93.8	94,072,000	126,381,000	134.3	
漁業集落排水事業補助金	75,250,000	5,390,000	80,640,000	20,386,000	0.8	△ 60,254,000	25.3	39,216,000	△ 18,830,000	△ 48.0	
負担金及び分担金	293,830,000	226,028,220	519,858,220	436,629,252	17.1	△ 83,228,968	84.0	398,643,544	37,985,708	9.5	
公共下水道事業負担金	146,425,000	216,878,460	363,303,460	356,724,152	14.0	△ 6,579,308	98.2	345,158,824	11,565,328	3.4	
特定環境保全公共下水道事業負担金	19,900,000	—	19,900,000	16,246,200	0.6	△ 3,653,800	81.6	16,984,600	△ 738,400	△ 4.3	
農業集落排水事業負担金	110,014,000	9,149,760	119,163,760	47,261,700	1.9	△ 71,902,060	39.7	9,403,620	37,858,080	402.6	
漁業集落排水事業負担金	17,491,000	—	17,491,000	16,397,200	0.6	△ 1,093,800	93.8	27,096,500	△ 10,699,300	△ 39.5	
固定資産売却代金	4,000	—	4,000	—	—	△ 4,000	—	—	—	—	
合 計	3,421,024,000	413,642,390	3,834,666,390	2,555,299,498	100.0	△ 1,279,366,892	66.6	2,621,826,814	△ 66,527,316	△ 2.5	

(税込み)

(資本の支出)

(単位:円)

区 分	平成30年度								29年度	対前年度	
	予 算 額			決算額		翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (%) (B)/(A)	決算額 (D)	増減額 (E) (B)-(D)	比率 (%) (E)/(D)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)						
建設改良費	3,071,205,000	425,705,680	3,496,910,680	2,118,989,728	50.0	297,568,448	1,080,362,504	60.6	2,370,868,572	△ 251,878,844	△ 10.6
公共下水道事業 拡張費	1,168,383,258	169,348,360	1,337,731,618	721,776,666	17.0	40,358,400	575,596,552	54.0	849,888,550	△ 128,111,884	△ 15.1
特定環境保全公共 下水道事業拡張費	563,142,000	8,367,680	571,509,680	429,610,393	10.2	34,394,048	107,505,239	75.2	370,832,720	58,777,673	15.9
農業集落排水事 業拡張費	242,500,000	—	242,500,000	219,213,960	5.2	—	23,286,040	90.4	34,503,840	184,710,120	535.3
漁業集落排水事 業拡張費	171,800,000	11,300,000	183,100,000	42,918,600	1.0	88,126,000	52,055,400	23.4	75,246,759	△ 32,328,159	△ 43.0
公共下水道事業 改良費	358,195,960	221,189,640	579,385,600	241,852,560	5.7	121,426,180	216,106,860	41.7	797,741,680	△ 556,889,120	△ 69.7
特定環境保全公共 下水道事業改良費	14,316,000	—	14,316,000	—	—	13,263,820	1,052,180	0.0	19,789,920	△ 19,789,920	△ 100.0
農業集落排水事 業改良費	175,688,040	15,500,000	191,188,040	118,469,700	2.8	—	72,718,340	62.0	30,406,680	88,063,020	289.6
公共下水道事業受 益者負担金徴収費	13,087,894	—	13,087,894	9,730,674	0.2	—	3,357,220	74.3	10,361,338	△ 630,664	△ 6.1
特定環境保全公共下 水道事業受益者負担 金徴収費	7,528,195	—	7,528,195	6,788,467	0.2	—	739,728	90.2	6,498,244	290,223	4.5
農業集落排水事業 受益者負担金徴収 費	91,911	—	91,911	86,592	0.0	—	5,319	94.2	189,615	△ 103,023	△ 54.3
漁業集落排水事業 受益者負担金徴収 費	8,417,000	—	8,417,000	5,459,417	0.1	—	2,957,583	64.9	7,476,166	△ 2,016,749	△ 27.0
公共下水道事業有 形固定資産購入費	1,308,191	—	1,308,191	687,480	0.0	—	620,711	52.6	1,525,684	△ 838,204	△ 54.9
特定環境保全公共下 水道事業有形固定資 産購入費	97,000	—	97,000	60,984	0.0	—	36,016	62.9	37,273	23,711	63.6
農業集落排水事業 有形固定資産購入 費	159,809	—	159,809	159,809	0.0	—	—	100.0	168,929	△ 9,120	△ 5.4
漁業集落排水事業 有形固定資産購入 費	149,000	—	149,000	90,919	0.0	—	58,081	61.0	80,758	10,161	12.6
公共下水道事業無 形固定資産購入費	184,860,742	—	184,860,742	184,698,149	4.4	—	162,593	99.9	24,097,690	160,600,459	666.5
特定環境保全公共下 水道事業無形固定資 産購入費	902,000	—	902,000	881,871	0.0	—	20,129	97.8	—	881,871	皆増
農業集落排水事業 無形固定資産購入 費	1,283,000	—	1,283,000	1,254,369	0.0	—	28,631	97.8	—	1,254,369	皆増
漁業集落排水事業 無形固定資産購入 費	29,000	—	29,000	28,353	0.0	—	647	97.8	—	28,353	皆増
公共下水道事業 建設改良管理費	77,952,778	—	77,952,778	71,060,217	1.7	—	6,892,561	91.2	70,774,652	285,565	0.4
特定環境保全公共下 水道事業建設改良管 理費	39,539,000	—	39,539,000	26,800,545	0.6	—	12,738,455	67.8	34,776,107	△ 7,975,562	△ 22.9
農業集落排水事業 建設改良管理費	8,637,809	—	8,637,809	7,069,849	0.2	—	1,567,960	81.8	5,865,044	1,204,805	20.5
漁業集落排水事業 建設改良管理費	33,136,413	—	33,136,413	30,290,154	0.7	—	2,846,259	91.4	30,606,923	△ 316,769	△ 1.0
企業債償還金	2,117,983,000	—	2,117,983,000	2,117,981,376	50.0	—	1,624	100.0	2,101,731,691	16,249,685	0.8
公共下水道事業 企業債償還金	1,323,188,000	—	1,323,188,000	1,323,187,170	31.2	—	830	100.0	1,328,962,376	△ 5,775,206	△ 0.4
特定環境保全公共下 水道事業企業債償還 金	257,575,000	—	257,575,000	257,574,991	6.1	—	9	100.0	248,809,295	8,765,696	3.5
農業集落排水事業 企業債償還金	537,220,000	—	537,220,000	537,219,215	12.7	—	785	100.0	523,960,020	13,259,195	2.5
投資	2,013,000	—	2,013,000	452,874	0.0	—	1,560,126	22.5	452,466	408	0.1
基金費	2,013,000	—	2,013,000	452,874	0.0	—	1,560,126	22.5	452,466	408	0.1
合 計	5,191,201,000	425,705,680	5,616,906,680	4,237,423,978	100.0	297,568,448	1,081,914,254	75.4	4,473,052,729	△ 235,628,751	△ 5.3

(税込み)

収入合計は2,555,299,498円で、予算額3,834,666,390円に対して1,279,366,892円少なく、収入率は66.6%である。

支出合計は4,237,423,948円、翌年度繰越額は297,568,448円で、予算額5,616,906,680円に対し1,081,914,284円の不用額を生じ、執行率は75.4%である。

主な不用額は、公共下水道事業拡張費575,596,552円、公共下水道事業改良費216,106,860円、特定環境保全公共下水道事業拡張費107,505,239円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,682,124,480円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額78,359,242円、減債積立金374,862,665円、当年度分損益勘定留保資金1,228,902,573円で補てんされている。

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する予算に係る事項の執行状況は、次のとおりである。

① 債務負担行為

債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、予算に定めた範囲内で執行されている。

② 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算の範囲内で執行されている。

③ 一時借入金

当年度の一時借入金限度額は、500,000,000円であったが、執行はなかった。

④ 議会の議決を経なければ流用することができない経費

職員給与費262,919,000円であり、流用はなく、予算の範囲内で執行されている。

⑤ 他会計からの補助金

一般会計からの補助金は1,695,700,000円（収益的収入1,435,752,000円、資本的収入259,948,000円）である。

⑥ たな卸資産購入限度額

当年度のたな卸資産購入限度額は、1,500,000円であったが、執行はなかった。

3 経営成績について

当年度の経営成績を前年度と対比すると、次の損益計算書のとおりである。

営業収益は2,157,511,960円で、前年度に比べ533,386円増加し、営業費用は3,904,010,129円で、前年度に比べ253,119,776円増加している。この結果、営業損失は1,746,498,169円で、前年度に比べ252,586,390円増加している。営業外収益は2,720,587,524円で、前年度に比べ66,916,469円増加し、営業外費用は642,467,972円で、前年度に比べ43,038,212円減少している。これにより、経常利益は331,621,383円、当年度純利益は395,690,876円である。

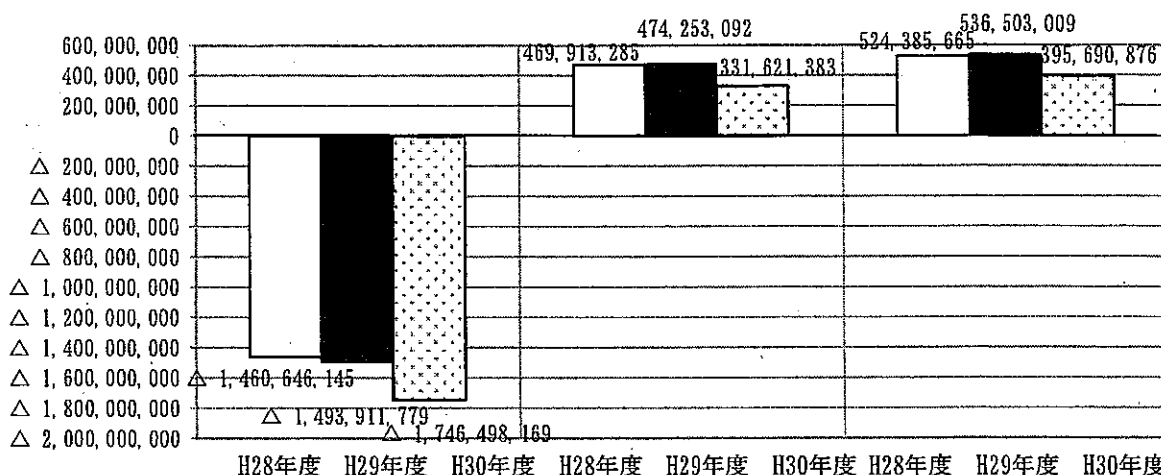
(損益計算書)

(単位：円)

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
営業収益		2,157,511,960	100.0	2,156,978,574	100.0	533,386
事業収益	2,096,782,800		97.2	2,101,944,414	97.5	△ 5,161,614
他会計補助金	60,533,000		2.8	54,889,000	2.5	5,644,000
その他営業収益	196,160		0.0	145,160	0.0	51,000
営業費用		3,904,010,129	100.0	3,650,890,353	100.0	253,119,776
管渠費	123,672,241		3.2	106,680,691	2.9	16,991,550
ポンプ場費	22,643,803		0.6	21,898,118	0.6	745,685
処理場費	984,190,881		25.2	914,014,160	25.0	70,176,721
総係費	147,012,830		3.7	149,714,340	4.1	△ 2,701,510
減価償却費	2,370,169,164		60.7	2,358,359,220	64.6	11,809,944
資産減耗費	256,321,210		6.6	100,223,824	2.8	156,097,386
営業損失		1,746,498,169		1,493,911,779		252,586,390
営業外収益		2,720,587,524	100.0	2,653,671,055	100.0	66,916,469
受取利息及び配当金	461,851		0.0	550,828	0.0	△ 88,977
他会計補助金	1,375,219,000		50.6	1,393,040,000	52.5	△ 17,821,000
長期前受金戻入	1,336,787,378		49.1	1,251,927,314	47.2	84,860,064
雑収益	8,119,295		0.3	8,152,913	0.3	△ 33,618
営業外費用		642,467,972	100.0	685,506,184	100.0	△ 43,038,212
支払利息及び企業債取扱諸費	639,442,104		99.5	682,245,707	99.5	△ 42,803,603
雑支出	3,025,868		0.5	3,260,477	0.5	△ 234,609
経常利益		331,621,383		474,253,092		△ 142,631,709
特別利益		64,172,108	100.0	62,639,692	100.0	1,532,416
過年度損益修正益	35,262		0.1	7,140,972	11.4	△ 7,105,710
その他特別利益	64,136,846		99.9	55,498,720	88.6	8,638,126
特別損失		102,615	100.0	389,775	100.0	△ 287,160
過年度損益修正損	102,615		100.0	389,775	100.0	△ 287,160
当年度純利益		395,690,876		536,503,009		△ 140,812,133
前年度繰越利益剰余金		—		—		
当年度未処分利益剰余金		395,690,876		536,503,009		△ 140,812,133

(税抜き)

(経営成績年度比較) 営業利益 経常利益 純利益 (単位：円)



(税抜き)

なお、経営成績及び主要な利益指標の推移を見ると、次表のとおりである。

(経営成績及び主要な利益指標年度比較)

(単位：円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
下水道事業収益	4,827,827,990	4,873,289,321	4,942,271,592
うち営業収益	2,115,397,564	2,156,978,574	2,157,511,960
下水道事業費	4,303,442,325	4,336,786,312	4,546,580,716
うち営業費用	3,576,043,709	3,650,890,353	3,904,010,129
当年度純利益	524,385,665	536,503,009	395,690,876
前年度繰越利益剰余金	-	-	-
その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	524,385,665	536,503,009	395,690,876
総収支比率 (%)	112.2	112.4	108.7
営業収支比率 (%)	59.2	59.1	55.3
総資本利益率 (%)	0.6	0.6	0.4

(税抜き)

(注) 総資本利益率＝経常利益／{(期首負債資本＋期末負債資本)×1/2}×100
 総資本利益率は、投下資本に対してどれだけ純利益を上げたかという資本効率を示すものである。率が高いほど総合的な収益性が高いと言える。

(1) 営業収益及び営業費用

営業収益は2,157,511,960円で、前年度に比べ533,386円(0.0%)増加している。主な理由は、他会計補助金の増加である。営業収益の構成を見ると、97.2%が事業収益で、2.8%が他会計補助金である。

営業費用は3,904,010,129円で、前年度に比べ253,119,776円(6.9%)増加している。主な理由は、資産減耗費、処理場費の増加である。営業費用の構成を見ると、減価償却費が60.7%、処理場費が25.2%となっている。なお、営業費用の構成は次頁のとおりである。

(営業費用構成年度比較)

(単位:円)

区 分	平成30年度		平成29年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
管 渠 費	123,672,241	3.2	106,680,691	2.9	16,991,550
ポ ンプ 場 費	22,643,803	0.6	21,898,118	0.6	745,685
処 理 場 費	984,190,881	25.2	914,014,160	25.0	70,176,721
総 係 費	147,012,830	3.7	149,714,340	4.1	△ 2,701,510
減 価 償 却 費	2,370,169,164	60.7	2,358,359,220	64.6	11,809,944
資 産 減 耗 費	256,321,210	6.6	100,223,824	2.8	156,097,386
合 計	3,904,010,129	100.0	3,650,890,353	100.0	253,119,776

(税抜き)

次に、営業費用を性質別に見ると、次表のとおりである。

(営業費用性質別年度比較)

(単位:円)

区 分	平成30年度		平成29年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
給 与 費 等	95,365,503	2.4	96,687,127	2.6	△ 1,321,624
委 託 料	370,162,986	9.5	308,494,719	8.5	61,668,267
修 繕 費 等	112,694,010	2.9	95,029,935	2.6	17,664,075
動 力 費 等	174,900,911	4.5	166,365,473	4.6	8,535,438
負 担 金	480,754,489	12.3	484,903,677	13.3	△ 4,149,188
減 価 償 却 費 等	2,626,490,374	67.3	2,458,583,044	67.3	167,907,330
そ の 他	43,641,856	1.1	40,826,378	1.1	2,815,478
合 計	3,904,010,129	100.0	3,650,890,353	100.0	253,119,776

(税抜き)

- (注) 1. 給与費等には、給料のほか手当、賞与引当金繰入額、報酬、賃金、法定福利費及び退職給付金を含む。
 2. 修繕費等には、修繕費のほか材料費を含む。
 3. 動力費等には、動力費のほか薬品費、光熱水費及び通信運搬費を含む。
 4. 減価償却費等には、減価償却費のほか資産減耗費を含む。

(2) 営業外収益及び営業外費用

営業外収益は2,720,587,524円で、前年度に比べ66,916,469円(2.5%)増加している。主な理由は、長期前受金戻入の増加である。

営業外費用は642,467,972円で、前年度に比べ43,038,212円(△6.3%)減少している。主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費の減少である。

(3) 特別利益及び特別損失

特別利益は64,172,108円で、前年度に比べ1,532,416円(2.4%)増加している。主な理由は、その他特別利益の増加である。

特別損失は102,615円で、前年度に比べ287,160円(△73.7%)減少している。この理由は、過年度損益修正損の減少である。

(4) 原価計算

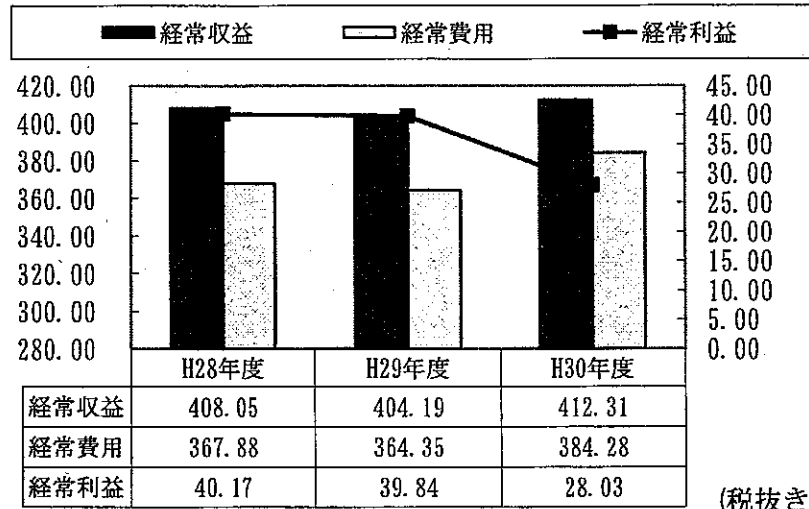
有収水量1m³当たりの収益及び費用は、次表のとおりである。

単位当たりの経常収益は、前年度に比べ8.12円増加し、経常費用も19.93円増加している。この結果、経常利益は11.81円減少している。

使用料単価は、前年度に比べ0.61円増加し、汚水処理原価は12.38円増加している。この結果、使用料単価から汚水処理原価の差引は11.77円減少している。

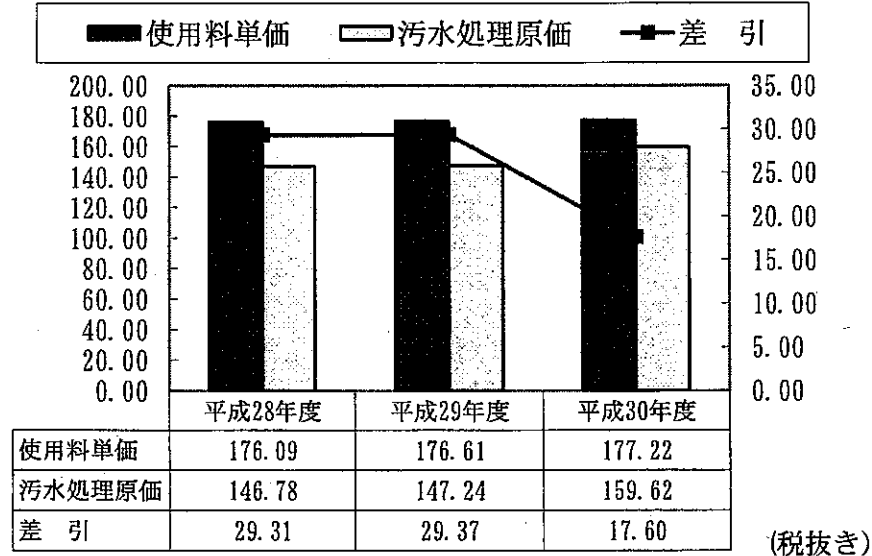
(単位当たり経常利益年度比較)

(単位：円/m³)



(単位当たり給水利益年度比較)

(単位：円/m³)



(注) 汚水処理原価(使用料対象原価) = [経常費用 - (不用品売却原価 + 基準内繰入金(収益的収入分) + 長期前受金戻入(元金償還に係る一般会計補助金収益化額を除く))] / 年間総有収水量

(5) 剰余金計算

剰余金の当年度中の増減状況は、次頁のとおりである。

当年度未処分利益剰余金395,690,876円は、全額減債積立金に積み立てる予定としている。

(剰余金計算書)

(単位：円)

	剰余金										資本合計					
	資本金		資本剰余金				利益剰余金									
	受贈財産評価額	補助金	受益者負担金 及び分担金	資本剰余金合計	減債積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	受贈財産評価額	補助金	受益者負担金 及び分担金						
前年度末残高	27,789,310	568,812,476	922,499	597,524,285	829,720,451	536,503,009	1,366,223,460	27,789,310	568,812,476	922,499	597,524,285	829,720,451	536,503,009	1,366,223,460	8,034,715,452	
前年度剰余金の処分額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲早市上下水道事業の設置等 に関する条例第6条第1項によ る処分額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
減債積立金の積立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
処分後残高	27,789,310	568,812,476	922,499	597,524,285	1,366,223,460	536,503,009	1,366,223,460	27,789,310	568,812,476	922,499	597,524,285	1,366,223,460	536,503,009	1,366,223,460	8,034,715,452	
当年度変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出資金の受入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資本金への組入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当年度純利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当年度末残高	27,789,310	568,812,476	922,499	597,524,285	991,360,795	395,690,876	1,387,051,671	27,789,310	568,812,476	922,499	597,524,285	991,360,795	395,690,876	1,387,051,671	8,634,657,328	

(税抜き)

(6) 各下水道事業別の経営成績

各下水道事業の経営成績は、次表のとおりである。

事業別に当年度の純利益（純損失）を見ると、公共下水道事業は純利益535,028,543円、特定環境保全公共下水道事業は純損失80,172,485円、農業集落排水事業は純損失54,684,370円、漁業集落排水事業は純損失4,480,812円である。

(事業別経営成績)

(単位：円)

科 目	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農 業 集 落 排 水 事 業	漁 業 集 落 排 水 事 業	合 計
営業収益	1,774,078,946	154,901,528	210,978,170	17,553,316	2,157,511,960
事業収益	1,728,026,586	149,216,868	202,650,650	16,888,696	2,096,782,800
他会計補助金	45,896,000	5,683,000	8,292,000	662,000	60,533,000
その他営業収益	156,360	1,660	35,520	2,620	196,160
営業費用	2,434,537,260	610,913,965	810,157,589	48,401,315	3,904,010,129
管渠費	37,835,958	33,372,215	51,745,433	718,635	123,672,241
ポンプ場費	22,643,803	—	—	—	22,643,803
処理場費	721,698,014	102,936,329	150,638,322	8,918,216	984,190,881
総係費	103,875,473	16,965,902	24,250,253	1,921,202	147,012,830
減価償却費	1,317,900,221	457,604,003	557,821,678	36,843,262	2,370,169,164
資産減耗費	230,583,791	35,516	25,701,903	—	256,321,210
営業利益（損失）	△ 660,458,314	△ 456,012,437	△ 599,179,419	△ 30,847,999	△ 1,746,498,169
営業外収益	1,496,356,510	484,485,662	707,389,615	32,355,737	2,720,587,524
受取利息及び配当金	461,851	—	—	—	461,851
他会計補助金	736,166,000	232,032,000	394,830,000	12,191,000	1,375,219,000
長期前受金戻入	751,694,352	252,402,551	312,537,918	20,152,557	1,336,787,378
雑収益	8,034,307	51,111	21,697	12,180	8,119,295
営業外費用	364,955,592	108,648,672	162,875,158	5,988,550	642,467,972
支払利息及び企業債取扱諸費	362,694,101	108,333,117	162,577,597	5,837,289	639,442,104
雑支出	2,261,491	315,555	297,561	151,261	3,025,868
經常利益（損失）	470,942,604	△ 80,175,447	△ 54,664,962	△ 4,480,812	331,621,383
特別利益	64,163,830	5,352	2,926	—	64,172,108
過年度損益修正益	26,984	5,352	2,926	—	35,262
その他特別利益	64,136,846	—	—	—	64,136,846
特別損失	77,891	2,390	22,334	—	102,615
過年度損益修正損	77,891	2,390	22,334	—	102,615
当年度純利益（純損失）	535,028,543	△ 80,172,485	△ 54,684,370	△ 4,480,812	395,690,876
前年度繰越利益剰余金	—	—	—	—	—
当年度未処分利益剰余金（未処理欠損金）	535,028,543	△ 80,172,485	△ 54,684,370	△ 4,480,812	395,690,876

(税抜き)

4 財政状態について

当年度末の財政状態を前年度と対比すると、次頁の貸借対照表のとおりである。資産の部では、固定資産が74,379,748,663円で、前年度に比べ593,673,163円(△0.8%)減少している。資産合計は77,021,664,578円で、前年度に比べ147,345,919円(△0.2%)減少している。

負債及び資本の部では、負債合計が68,387,007,250円で、前年度に比べ747,287,795円(△1.1%)減少し、資本合計は8,634,657,328円で、前年度に比べ599,941,876円(7.5%)増加している。

(1) 資産の部

有形固定資産は71,276,020,502円で、前年度に比べ687,264,813円減少している。主な理由は、減価償却による減少である。

無形固定資産は2,600,081,895円で、前年度に比べ93,138,776円増加している。主な理由は、施設利用権の増加である。

また、流動資産は2,641,915,915円で、前年度に比べ446,327,244円増加している。主な理由は、現金・預金の増加である。

(2) 負債の部

固定負債は30,788,908,993円で、前年度に比べ915,447,007円減少している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債の減少である。

また、流動負債は3,212,177,184円で、前年度に比べ345,863,021円増加している。主な理由は、未払金の増加である。

(3) 資本の部

資本金は6,650,081,372円で、前年度に比べ579,113,665円増加している。

剰余金は1,984,575,956円で、前年度に比べ20,828,211円増加している。

企業債の未償還残高は、前年度に比べ934,281,376円減少している。

前年度末残高	33,741,304,952 円
当年度発行額	1,183,700,000 円
当年度償還額	2,117,981,376 円
当年度末残高	32,807,023,576 円

(貸借対照表)

(単位:円)

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減		
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)			
(資産の部)							
固定資産							
有形固定資産							
土地		1,249,798,216	1.6		1,249,798,216	1.6	—
建物	2,894,174,115			2,894,174,115			
減価償却累計額	△ 619,043,844	2,275,130,271	3.0	△ 544,855,122	2,349,318,993	3.0	△ 74,188,722
構築物	74,554,025,826			73,445,789,442			
減価償却累計額	△ 12,395,198,980	62,158,826,846	80.7	△ 10,794,256,672	62,651,532,770	81.2	△ 492,705,924
機械及び装置	10,076,874,969			9,900,722,869			
減価償却累計額	△ 5,282,925,451	4,793,949,518	6.2	△ 4,726,353,784	5,174,369,085	6.7	△ 380,419,567
車両運搬具	4,212,562			4,212,562			
減価償却累計額	△ 2,693,234	1,519,328	0.0	△ 2,451,654	1,760,908	0.0	△ 241,580
工具器具及び備品	18,868,995			18,248,995			
減価償却累計額	△ 15,153,506	3,715,489	0.0	△ 14,466,671	3,782,324	0.0	△ 66,835
建設仮勘定		793,080,834	1.0		532,723,019	0.7	260,357,815
有形固定資産合計		71,276,020,502	92.5		71,963,285,315	93.2	△ 687,264,813
無形固定資産							
施設利用権		2,591,452,485	3.4		2,505,792,594	3.2	85,659,891
ソフトウェア		8,629,410	0.0		1,150,525	0.0	7,478,885
無形固定資産合計		2,600,081,895	3.4		2,506,943,119	3.2	93,138,776
投資その他資産							
基金		503,646,266	0.7		503,193,392	0.7	452,874
投資その他の資産合計		503,646,266	0.7		503,193,392	0.7	452,874
固定資産合計		74,379,748,663	96.6		74,973,421,826	97.1	△ 593,673,163
流動資産							
現金・預金		1,776,728,134	2.3		1,358,961,521	1.8	417,766,613
未収金		875,639,781	1.1		844,659,150	1.1	30,980,631
貸倒引当金		△ 10,800,000	△ 0.0		△ 8,700,000	△ 0.0	△ 2,100,000
貯蔵品		348,000	0.0		668,000	0.0	△ 320,000
流動資産合計		2,641,915,915	3.4		2,195,588,671	2.9	446,327,244
資産合計		77,021,664,578	100.0		77,169,010,497	100.0	△ 147,345,919

(税抜き)

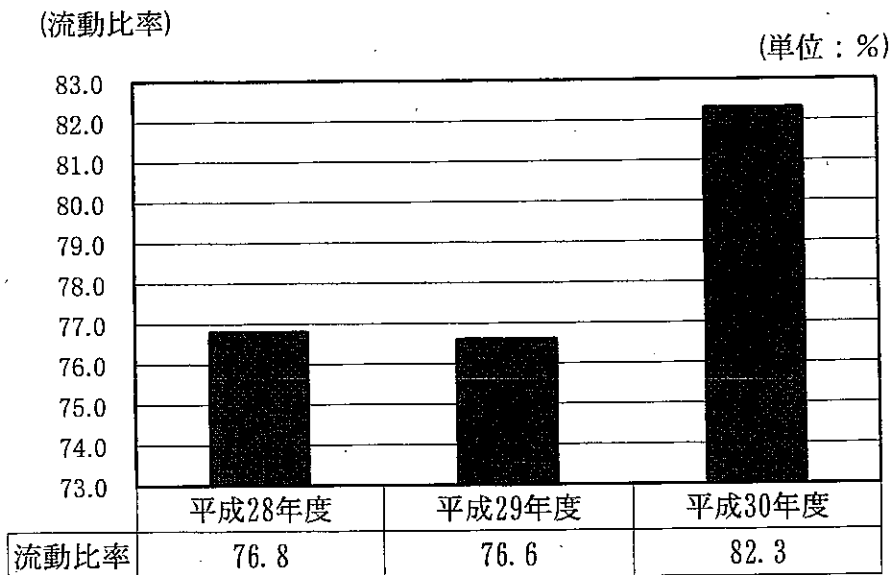
(貸借対照表)

(単位:円)

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
(負債の部)					
固定負債					
企業債					
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	30,698,618,100	39.9	31,623,323,576	41.0	△ 924,705,476
引当金					
退職給付引当金	90,290,893	0.1	81,032,424	0.1	9,258,469
固定負債合計	30,788,908,993	40.0	31,704,356,000	41.1	△ 915,447,007
流動負債					
企業債					
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,108,405,476	2.7	2,117,981,376	2.7	△ 9,575,900
未払金	1,065,321,833	1.4	683,755,572	0.9	381,566,261
前受金	3,624	0.0	3,684	0.0	△ 60
引当金					
賞与引当金	18,681,000	0.0	18,316,000	0.0	365,000
その他流動負債	19,765,251	0.0	46,257,531	0.1	△ 26,492,280
流動負債合計	3,212,177,184	4.1	2,866,314,163	3.7	345,863,021
繰延収益					
長期前受金	44,193,425,111	57.4	43,170,682,382	55.9	1,022,742,729
収益化累計額	△ 9,807,504,038	△ 12.7	△ 8,607,057,500	△ 11.2	△ 1,200,446,538
繰延収益合計	34,385,921,073	44.7	34,563,624,882	44.8	△ 177,703,809
負債合計	68,387,007,250	88.8	69,134,295,045	89.6	△ 747,287,795
(資本の部)					
資本金	6,650,081,372	8.6	6,070,967,707	7.9	579,113,665
剰余金					
資本剰余金					
受贈財産評価額	27,789,310	0.0	27,789,310	0.0	—
補助金	568,812,476	0.8	568,812,476	0.7	—
受益者負担金及び分担金	922,499	0.0	922,499	0.0	—
資本剰余金合計	597,524,285	0.8	597,524,285	0.7	—
利益剰余金					
減債積立金	991,360,795	1.3	829,720,451	1.1	161,640,344
当年度未処分利益剰余金	395,690,876	0.5	536,503,009	0.7	△ 140,812,133
利益剰余金合計	1,387,051,671	1.8	1,366,223,460	1.8	20,828,211
剰余金合計	1,984,575,956	2.6	1,963,747,745	2.5	20,828,211
資本合計	8,634,657,328	11.2	8,034,715,452	10.4	599,941,876
負債資本合計	77,021,664,578	100.0	77,169,010,497	100.0	△ 147,345,919

(税抜き)

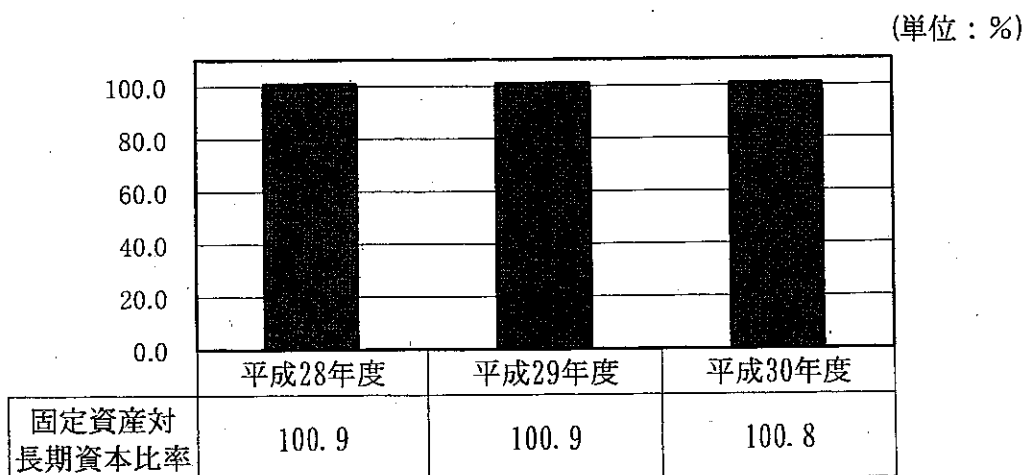
ここで、主な財務比率の推移は次のとおりである。



※ 流動比率＝流動資産/流動負債×100

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は100%以上であることが望ましい。

(固定資産対長期資本比率)



※ 固定資産対長期資本比率＝固定資産/（資本金＋剰余金＋固定負債＋繰延収益）×100

固定資産対長期資本比率は、固定資産がどの程度長期資本（自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）及び長期借入金（固定負債））によって調達されているかを示すものである。この比率は100%以下で、かつ低いことが望ましい。

5 資金収支の状況について

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。キャッシュ・フロー計算書の推移は、次表のとおりである。

(キャッシュ・フロー計算書)

(単位:円)

区 分	平成30年度	平成29年度	増減
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	395,690,876	536,503,009	△ 140,812,133
減価償却費	2,370,169,164	2,358,359,220	11,809,944
固定資産除却費	256,321,210	99,213,824	157,107,386
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,100,000	1,143,000	957,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,258,469	18,016,077	△ 8,757,608
賞与引当金の増減額(△は減少)	611,000	△ 754,000	1,365,000
長期前受金戻入額	△ 1,336,787,378	△ 1,251,927,314	△ 84,860,064
受取利息及び受取配当金	△ 461,851	△ 550,828	88,977
支払利息	639,442,104	682,245,707	△ 42,803,603
未収金の増減額(△は増加)	△ 41,065,922	△ 4,104,588	△ 36,961,334
未払金の増減額(△は減少)	△ 46,898,316	18,338,045	△ 65,236,361
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,220	△ 802,520	803,740
前受金の増減額(△は減少)	△ 60	320	△ 380
預り金の増減額(△は減少)	△ 26,492,280	2,548,268	△ 29,040,548
小 計	2,221,888,236	2,458,228,220	△ 236,339,984
利息及び配当金の受取額	461,851	550,828	△ 88,977
利息の支払額	△ 639,442,104	△ 682,245,707	42,803,603
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,582,907,983	1,776,533,341	△ 193,625,358
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,382,983,838	△ 2,152,706,053	769,722,215
無形固定資産の取得による支出	△ 164,108,514	△ 13,400,132	△ 150,708,382
基金積立てによる収入	△ 452,874	△ 452,466	△ 408
国庫補助金等による収入	876,456,232	1,110,526,163	△ 234,069,931
一般会計からの補助金による収入	254,922,000	241,677,000	13,245,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 416,166,994	△ 814,355,488	398,188,494
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,183,700,000	1,060,700,000	123,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,117,981,376	△ 2,101,731,691	△ 16,249,685
他会計からの出資による収入	185,307,000	97,445,000	87,862,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 748,974,376	△ 943,586,691	194,612,315
資金増加額(又は減少額)	417,766,613	18,591,162	399,175,451
資金期首残高	1,358,961,521	1,340,370,359	18,591,162
資金期末残高	1,776,728,134	1,358,961,521	417,766,613

(税抜き)

業務活動によるキャッシュ・フローは、1,582,907,983円で、前年度に比べ193,625,358円減少している。主な理由は当年度純利益の減少によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△416,166,994円で、前年度に比べ398,188,494円支出が減少している。主な理由は、有形固定資産の取得による支出減少によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△748,974,376円で、前年度に比べ194,612,315円収入が増加している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入の増加によるものである。

以上の3区分から当年度の資金は、417,766,613円の増加となり、資金期末残高は1,776,728,134円となる。

キャッシュ・フローを見ると、業務活動で十分なキャッシュを生み出し、投資と借入金の返済もできており一般的にいう優良企業型である。

6 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

諫早市下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業を運営しており、各事業で地理的条件や地域性の違いから収益状況等が異なることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は、次表のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地における、し尿、生活排水等の処理
特定環境保全公共下水道事業	市街地以外における、し尿、生活排水等の処理
農業集落排水事業	農業集落における、し尿、生活排水等の処理
漁業集落排水事業	漁業集落における、し尿、生活排水等の処理

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

当年度の報告セグメントの営業収益等は、次表のとおりである。

(単位：円)

	公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業	農業集落排水事業	漁業集落排水事業	合計
営業収益	1,774,078,946	154,901,528	210,978,170	17,553,316	2,157,511,960
営業費用	2,434,537,260	610,913,965	810,157,589	48,401,315	3,904,010,129
営業損益	△ 660,458,314	△ 456,012,437	△ 599,179,419	△ 30,847,999	△ 1,746,498,169
経常損益	470,942,604	△ 80,175,447	△ 54,664,962	△ 4,480,812	331,621,383
セグメント資産	46,274,352,775	13,516,098,623	15,720,135,312	1,511,077,868	77,021,664,578
セグメント負債	37,436,107,717	13,651,654,193	15,762,577,823	1,536,667,517	68,387,007,250
その他の項目					
一般会計補助金	949,621,426	237,715,000	490,484,574	12,853,000	1,690,674,000
減価償却費	1,317,900,221	457,604,003	557,821,678	36,843,262	2,370,169,164
受取利息	461,851	0	0	0	461,851
支払利息	362,694,101	108,333,117	162,577,597	5,837,289	639,442,104
特別利益	64,163,830	5,352	2,926	0	64,172,108
特別損失	77,891	2,390	22,334	0	102,615
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	883,897,575	433,036,966	325,959,557	75,493,259	1,718,387,357

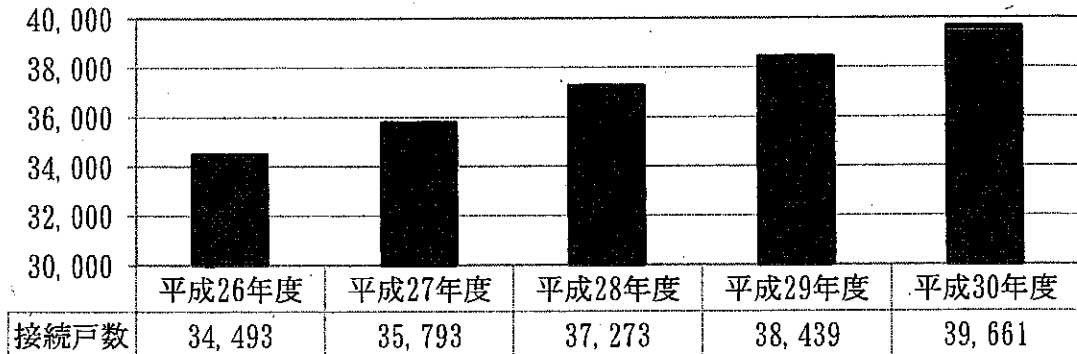
(税抜き)

7 むすび

諫早市下水道事業における、接続戸数、接続率及び年間有収水量の推移は、次のとおりである。

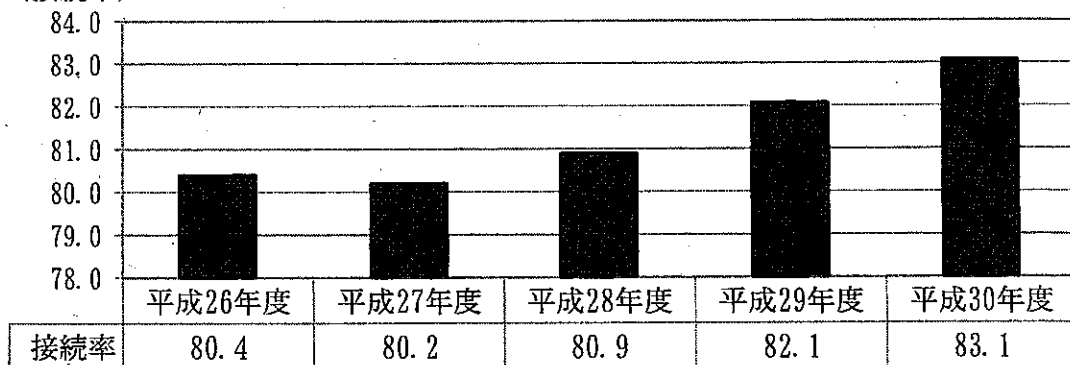
(接続戸数)

(単位：戸)



(接続率)

(単位：%)

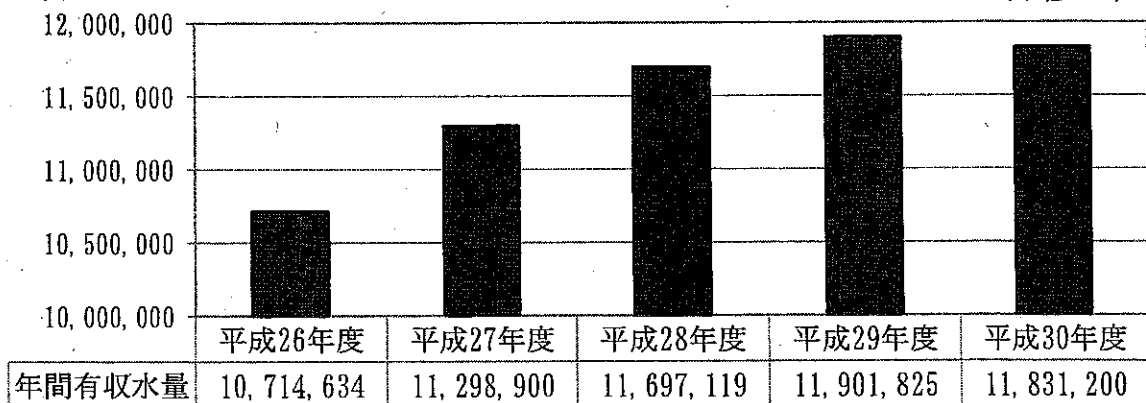


当年度の接続戸数は、前年度に比べ1,222戸増加し、接続率は1.0ポイント上昇している。

人口減少や節水機器の普及などにより、1戸当たりの使用水量が大幅に増えることは難しいので、供用開始区域内の更なる接続を推進し、下水道使用料の増収を図っていく必要がある。

(年間有収水量)

(単位：m³)



当年度の年間有収水量は、前年度に比べ70,625m³減少している。

主な理由は、大口使用者の使用水量の減や、各家庭における節水対策等による影響などが考えられる。

下水道事業については、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や人口減少等に伴う使用料収入の減少などの課題がある。

また平成30年度末における企業債残高は32,807,023,576円で、今後も多額の企業債償還が続き、国からの交付金の削減、交付税の減少など、下水道経営を取り巻く環境は厳しい状況である。

一方、事業の経営分析の結果、現金・預金などによる流動資産の増により、流動比率は82.3%と前年度に比べ5.7ポイント上昇したが、国が必要と示している100%には達しておらず、更なる経営改善を模索していくことが必要である。

現在、「諫早市下水道経営戦略プラン」に基づき、普及率や接続率の向上に努めているが、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、引き続き未接続者や大規模事業者に対する個別訪問などにより、供用開始区域内の更なる接続推進を図られたい。

また、地方公営企業の独立採算制の原則に鑑み、使用料収入を確保することにより、一般会計からの基準外繰入金や企業債残高の縮減に努められたい。

下水道事業の運営にあたっては、長期的展望に立った施設の更新、隣接する処理場の統廃合、民間活力の活用などによる経費縮減の取組や適切な経営計画に基づき経営基盤の改善・強化を図り、事業の効率的かつ効果的な推進に努められたい。

